

社会マスメディア系専攻

講師

あだちさとし

安達智史

s.adachi@socio.kindai.ac.jp



<http://researchmap.jp/s-adachi/>

<http://www.kindai.ac.jp/meikan/1324-adachi-satoshi.htm>

◆研究テーマ等

1. イギリスの社会統合をめぐる実証・政治哲学研究

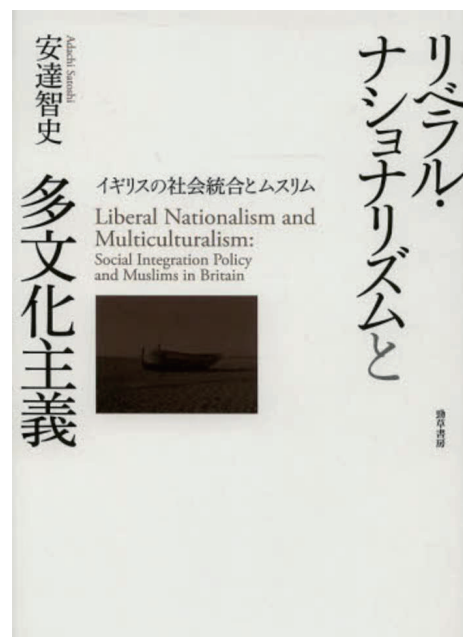
多文化化するイギリス社会のなかで、移民やマイノリティをいかに社会に包摂するのか、そういった視点から政策や多文化社会の現状について研究しています。また、リベラル・ナショナリズムや多文化主義といった観点から、多様性・平等・結束のバランスのとれた、望ましい社会統合モデルについても、イギリスやヨーロッパの事例を踏まえつつ、検討しています。その成果として、2013年12月に『リベラル・ナショナリズムと多文化主義 — イギリスの社会統合とムスリム』勁草書房(右写真)を出版しました。

◆略歴

京都府出身。博士(文学、東北大学)。日本学術振興会特別研究員(DC、PD、海外特別研究員)、Institute of Community Cohesion客員研究員、University College London客員研究員などを経て、2015年4月に近畿大学総合社会学部に講師として着任。専門は、社会学理論、社会統合の政治哲学、現代若者ムスリム、ニューカマー児童・生徒の学校適応、ジェンダー/セクシュアリティ研究など。

◆研究概要等

「グローバル化時代の社会統合」をテーマとして、多様化する現代社会における統合のあり方について、社会学・政治哲学に基づき探求しています。国境を越境する人々(特に、若者、女性、ムスリム)が、いかに自身の複数のアイデンティティをマネジメントし、ホスト社会に適応しているのかという点に関心があります。



2. グローバル化時代の女性ムスリムの信仰と社会統合

現代の女性ムスリムの信仰と社会参加について研究しています。特にグローバル化や情報化のなかで、どのように女性が、「ムスリム(=イスラーム教徒)」として、現代社会のシステム(教育、労働、家族など)に参加しているのか、その内在的論理の解明を目指しています。それにより、ムスリムたちに与えられている偏見やステレオタイプを相対化し、今を生きる等身大の彼女たちの姿に迫っています。具体的には、イギリス、日本、マレーシアをフィールドとし、比較調査をおこなっています。

3. 日本のニューカマー児童・生徒の学校適応をめぐる研究

海外にルーツをもつ児童・生徒(主にブラジル系)の日本の学校への適応をめぐる調査・研究をおこなっています。こうした子どもたちが、なぜ学校への適応に困難を感じ、それにはどのような構造的要因(移民特有の家族関係、コミュニティの欠如、経済的問題、学校対応の問題など)が存在し、いかにして問題を克服することができるのかが関心です。具体的には愛知県知多市でNPOを運営し、子どもに対する支援を通じて問題解決に向け取り組んでいます。

◆論文・作品・表彰・特許等 (抜粋)

1. 安達智史、2016、「変容する学校と地域 — ブラジルにルーツを持つ子どもの学校適応と家族資源」近畿大学日本文化研究所編『変化と転換を見つめて』風媒社。
2. 安達智史、2015、「情報化時代における若者ムスリムの社会統合 — イスラームの<知識>に着目して」『社会学評論』66(3): 346-63。
3. 安達智史、2013『リベラル・ナショナリズムと多文化主義 — イギリスの社会統合とムスリム』、勁草書房。
4. Adachi, Satoshi, 2011, "Social Integration in Post-Multiculturalism: An Analysis of Social Integration Policy in Post-war Britain," *International Journal of Japanese Sociology*, 20(1): 107-20.
5. 科学研究費(若手研究B)、研究課題名「情報化時代におけるムスリム女性の信仰と社会参加 — 質的調査に基づく国際比較研究」、総額 3,900,000 円(2016年4月~2019年3月)
6. 関西社会学会大会奨励賞(第62回大会) 受賞(2011年5月)
7. 第9回日本社会学会奨励賞(論文の部) 受賞(2010年11月)

◆趣味等

- 1: 愛の／についてのコミュニケーション
- 2: 韓国ドラマ／映画
- 3: 小説(浅田次郎、森博嗣、谷崎潤一郎など)

◆ゼミの宣伝等

テーマ: セクシュアリティ、ジェンダー、女性のからだ

現代社会論、グローバル化と宗教、多文化社会論

運営: 文献をもとに活発な議論をおこなっています。年に一度、社会の多様な現実に触れるため、フィールドワークに出かけています。昨年度は鶴橋コリアンタウンを訪れました(上写真)。

その他: 恋愛トークは(超)得意なので、ゼミや飲み会などで話しましょう!

